## 7 取付方法（梱包箱裏面の取付方法をご参照ください）

**警告** 警報器の取付けは安定した台に乗って作業を行ってください。転倒してケガをする恐れがあります。

つぎの２通りのいずれかの方法を行ってください。

**(a) ピンによる取付**（取付ベース、ピン、ピン押し具を使用）

取付面が木ネジなどが効かない比較的軟らかい素材（例えば石こうボード、発砲スチロール、薄い合板など）のとき適しています。

- 取付位置を決めたら、アプリケータを使用して取付ベースをピン（4ヶ所）で、しっかり止めて下さい。
- 取付ベースに本体をしっかりねじこんで下さい。

※ **ピンの取りはずし方**（ピン取外し用蝶ネジを使用）

蝶ネジで取付ベースを浮かせ、ピンを抜きやすくします。

**警告** ピンの落下に注意して下さい。ケガをする恐れがあります。

**(b) 木ネジによる取付**（取付ベース、木ネジを使用）

取付面が丈夫な場所での取付けに適しています。

- 取付位置を決め、取付面の補強材等が通っている丈夫な場所で、取付ベースを木ネジでしっかり止めてください。
- 取付ベースに本体をしっかりねじこんでください。

**警告** 取付用ピン、木ネジは先端が鋭利で危険ですので、取り扱いに注意し、幼児の手の届かないところに保管してください。

**注意** 警報器は必ず正しい取付場所に取り付けてください。誤った位置に取り付けると火災による熱を正常に感知できず、誤動作の原因になります。

### ◎取付けが終わったら動作確認をしてみましょう

・12 定期点検（お手入れ）のしかたの注意の項を参照してください。

## 8 警報器の作動

熱を感知すると火災警報音「ピーピーピー」音が繰り返し鳴ります。

### ◎火災の場合

火元を確認し、119番へ通報するなど適切な処置をしてください。

### ◎火災でない場合

**お願い** 火災以外でも次のような場合、警報器が鳴ることがありますが、警報音停止ボタンを押して室内の換気をし、熱感知部の熱がなくなるとすぐに鳴りやみますので、警報器を取り外さないでください。

- レンジ、エアコン、ストーブなどの熱が警報器にかかったとき
- 調理時の熱、蒸気などが警報器にかかったとき

## 9 警報音の止め方

- 温度が低くなれば警報音は停止します。
- 警報音停止ボタンを押すと警報音は停止します。
- 温度が高いままの場合は、約5分後に再び火災警報します。熱感知部の熱が低くなり、通常の状態に戻るまで火災警報を繰り返します。

## 10 自動試験（故障警報音）

- この警報器には自動試験機能があります。故障を検出すると、約1分40秒ごとに「ピッピピッ」と３回連続して故障警報音が鳴ります。
- 故障警報中に警報音停止ボタンを押すと、「ピッピピッ」と３回鳴り、その後故障警報は約8時間停止します。８時間後故障が継続している場合は、故障警報音は再び鳴ります。
- 故障警報が鳴りましたら速やかに警報器を交換して下さい。

## 11 電池切れ検出機能

電池の電圧が低下した場合、自動的に電池切れをお知らせします。

### ◎電池切れを検出すると

- 電池切れの警報音「ピッ」音が約１分40秒おきに鳴ります。
- 電池切れの警報中に警報音停止ボタンを押すと、「ピッ」音が鳴り、その後、電池切れ警報音は約８時間停止します。８時間後、電池電圧の低下が継続している場合は、電池切れ警報音が再び鳴ります。

### ◎電池切れ警報音が鳴ったら

- 市販のリチウム電池（CR2477）に交換してください。
- 5 電池の取付け方（交換）を参照してください。

## 12 定期点検（お手入れ）のしかた

**警告** 点検時は高所作業となり、転倒・落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。

**注意** 警報音を必要以上に鳴らすと、電池消費量が多くなり、電池寿命が短くなります。

下記の要領で６ヶ月に１度以上、定期点検をして下さい。（動作確認）

- 確認ボタンを約１秒押してください。
  （確認ボタンは警報音停止ボタンを兼ねております）
- 火災警報音「ピーピーピー」音が１度鳴れば正常です。

**警告** ライターなどの炎は使用しないでください。

警報器を壊すばかりでなく、火災の原因となります。

**禁止** お手入れには中性洗剤・塩素系漂白剤・ベンジン・シンナーおよびアルコールは使わないでください。中性洗剤などを使ったとき、警報器表面に傷がつく場合があります。

**よく絞ってからふく**

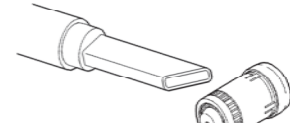
お手入れをされる場合は布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから汚れをふきとってください。

**禁止**

お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。

**禁止**

お手入れ後、熱感知部に異物（糸くず・水など）を残さないでください。誤報の原因となります。

**つまりを取る**

熱感知部の小穴がホコリなどでつまっている場合は、掃除機などでホコリを取ってください。

●修理・サービスを依頼されるまえに、次の点検および処置をしてください。

| 状態 | 点検 | 処置 |
|---|---|---|
| 火災の熱でないのに火災警報が動作する。 | 警報器の近くに調理の熱や蒸気が滞留していませんか? | 熱、蒸気などを取り除いてください。（調理中で火災警報動作を続ける場合は、換気扇などをまわしてください。） |
| 火災警報音が鳴りやまない。 | 熱が熱感知部に残っていませんか? | うちわなどで扇いで、熱を冷ましてください。 |
| 確認ボタンを押しても警報音が鳴らない。 | 電池が正しくセットされていますか? | 電池の⊕⊖を確認して正しくセットしてください。 |
| | 電池が切れていませんか? | 電池（CR2477）を交換してください。 |
| １分４０秒おきに「ピッピピッ」と鳴る。 | 警報器の故障です。 | 警報器を速やかに交換してください。 |
| １分４０秒おきに「ピッ」と鳴る。 | 電池切れのお知らせです。 | 電池（CR2477）を交換してください。 |

## 13 アフターサービス

### ① 保証書

保証書は取扱説明書についておりますので、必ず「販売店名、お買い上げ日」など必要事項の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

### ② 保証期間中に交換を依頼される場合

- 保証期間はお買い上げ日から１年間です。
- 交換依頼されるときの必要な内容　◆ご住所・お名前・電話番号・商品名・商品記号　◆お買い上げ日・異常内容

### ③ 補修用性能部品等について

本品の本体は、修理交換後の性能維持が困難なため、補修用性能部品は設定していません。（交換が必要な場合は新品をご購入ください。）電池を除く付属品及び電池カバーについては供給させていただきます。

### ④ アフターサービスについてのお問い合わせ

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点がありましたらお買い求めの販売店へお問い合わせください。

## 14 廃棄する場合

内蔵電池を取り外し、分別廃棄してください。リチウム電池は充電できない『一次電池』ですので、一般の不燃ごみとして廃棄できますが、具体的な廃棄方法は各自治体の基準によります。

Fenwal®

# 取扱説明書

住宅用火災警報器（熱感知式）

# F22-R/F22-R-T

日本消防検定協会鑑定品

※ F22-R-T は、F22-R のセットから「ピン押し具・蝶ネジ」を除いたものです。

0870 KO

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用まえに必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

- この「取扱説明書」は大切に保管して下さい。
- この「取扱説明書」は保証書を兼ねております。

## 仕様

| | |
|---|---|
| 鑑定型式番号 | 鑑住第 19 ～ 8 号 |
| 電　源 | リチウム電池（CR2477）3V |
| 感知方式 | 熱式　定温式 (65℃相当) |
| 火災警報音 | 「ピーピーピー」音 |
| 故障警報音 | 「ピッピピッ」音（協会推奨警報音） |
| 電池切れ警報音 | 「ピッ」音　　　（協会推奨警報音） |
| 音　量 | 70dB 以上（1 m） |
| 寸　法 | Φ 31㎜× 57㎜（ベース取付時） |
| 質　量 | 30 g |
| 使用周囲温度 | 0℃ ～ ＋ 40℃（結露しないこと） |
| 電池寿命 | 約4年 |

**日本フェンオール株式会社**

## 保証書

| | |
|---|---|
| 商品名 | 住宅用火災警報器 |
| 商品番号 | F22-R / F22-R-T |
| 保証期間 | お買い上げ日より1年間 |
| お買い上げ | 年　月　日 |
| お客さま | ご住所<br>お名前<br>お電話 |
| 販売店さま | ご住所（店名）<br>お電話 |




日本フェンオール株式会社
FENWAL CONTROLS OF JAPAN, LTD.

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-5-10(教販九段ビル) TEL(03)-3237-3565 FAX(03)3237-5369


保証規定

1. 保証期間はお買い上げ日から1年間とします。ただし電池は保証の対象外です。
2. 通常のお取り扱いにおいて、保証期間内に万一故障した場合の交換は無償でいたします。
3. 保証期間内においても、次のような場合の交換は有料にさせていただきます。
   - お取り扱い上の誤りにより故障または破損した場合
   - 不当な改造や修理により故障または破損した場合
   - 不当な分解により故障または破損した場合
   - お引っ越しによる輸送、移動、衝撃、振動により故障または損傷した場合
   - 保証書の紛失、またはご提示のない場合
   - 保証書の所定事項に記載漏れ、または字句を書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. お客さまへ
   - アフターサービスについてご不明な場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
   - 本書にお買い上げ日ならびに販売店名の記載のないものは保証の対象となりませんので、ご購入時に必ずご確認下さい。
   - 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。
   - この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

※お客様にご記入いただいた保証書の控えまたは写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がありますので、ご了承ください。

## ❶ 警報器をご使用になる皆様へ

警報器を正しくお使いいただくために、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には絵表示をしています。それぞれの表示と意味は以下のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。
・誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

**警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されていることを表しています。

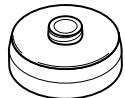
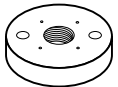
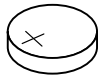
**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害が想定される場合を表しています。

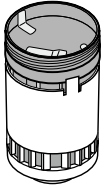
「一般的な禁止」事項を示しています。

「分解禁止」を示しています。

「必ずおこなう」事項を示しています。

## ❷ 同梱品のご確認

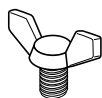
**共通梱包商品**

電池カバー（1個）

取付ベース（1個）

リチウム電池 CR2477（1個）（動作確認用）

取付用木ネジ（2本）

本体（1台）

取付用ピン（5本：1本は予備）

本取扱説明書（1部）

（F22-R-T には含みません）

ピン押し具（アプリケータ）（1個）

ピン取外し用蝶ネジ（1個）

## ❸ ご使用上の注意

### 警告

警報器は絶対に分解しないでください。

警報器を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

### 注意

・この警報器は熱を感知して警報するもので、火災の防止装置ではありません。
・警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを閉めているときは、ほかの部屋で発生した火災による熱が警報器までとどかず警報を発しない場合があります。
・警報器の前に、物を置いたり取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。
・この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。
・使用状況により、４年経過する前に電池がなくなることがあります。
・３日間以上留守にされたときは、正常動作を確認して下さい。（留守中に電池切れ警報があってもわからないため）
⓬定期点検（お手入れ）のしかたを参照してください。

## ❹ 各部の名称と働き

①熱感知部（センサー）
この部分（センサー）が熱を感知します。
**注意** センサーに触れないでください。感知性能に影響を及ぼす可能性があります。

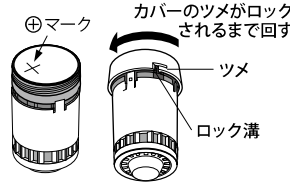
②警報ブザー
警報音停止ボタン（兼）
確認ボタン（兼）
この部分にブザーがあり警報を発します。
警報音停止ボタンを兼用し、これを押す⬆ことにより警報音は停止します。
また、警報が鳴っていないときこのボタンを押すとブザーが鳴り、動作確認ができます。
**注意** ボタンを強く押しすぎないでください。感知性能に影響を及ぼす可能性があります。

③電池カバー
電池カバーを取ると、電池交換ができます。

④取付ネジ部
このネジで取付ベースに取付けてください。

## ❺ 電池の取付け方（交換）

**警告** 電池には極性があります。＋と－をまちがえると電池の発火や警報器の故障の原因となります。

・電池カバーを左回転させて外してください。（交換の場合）
・付属の電池を入れ、カバーを右回しして取り付けます。ツメが本体の溝にロックされていることを確認してください。

**注意** 付属している電池は動作確認用です。必ずしも４年間の動作を保証するものではありません。

・確認ボタン（警報音停止ボタン）を軽く押してください。
「ピーピーピー」と鳴れば電池取付（交換）完了です。
・電池は市販のリチウム電池「CR2477」です。

**注意** 指定以外の電池は取り付けないでください。故障の原因となります。

**注意** カバーを強くまわしすぎないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。

| 電池交換記録 | 初回 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 年 ／ 月 | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ |

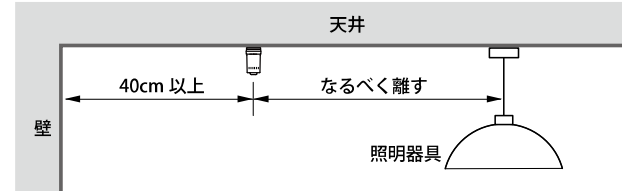
## ❻ 取り付け場所

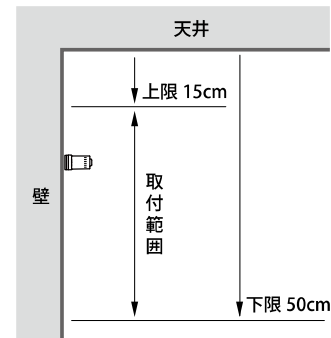
### 次のようなところをおすすめします。

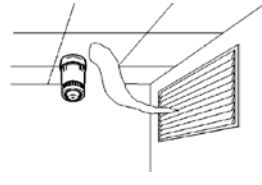
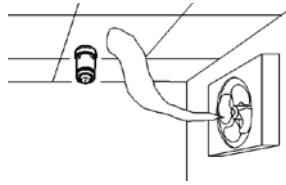
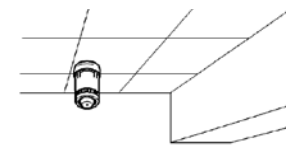
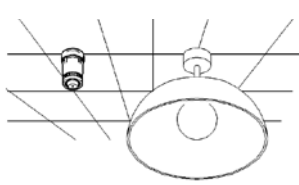
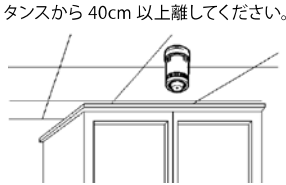
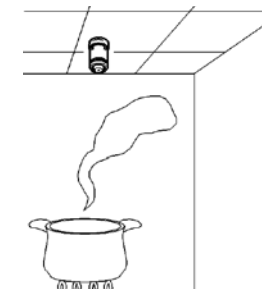
・台所
・じんあい、煙などが滞留するおそれのある居室、ガレージ

**注意** 設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村 条例で定められます。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

確認ボタン（警報音停止ボタン）が操作しやすい位置に取り付けてください。

### ◎天井面は壁などから 40㎝以上離す。

### ◎壁面は天井面下 15㎝～ 50㎝までの範囲

**注意** 台所以外の階段、廊下、居室、寝室には熱感知式ではなく、煙感知式を設置してください。

### 注意 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となります。

**禁止 空気の吹き出し口の近く**
熱が流されてしまうため、感知しないおそれがあります。吹き出し口から 1.5m 以上離してください。

**禁止 換気扇（給気用）の近く**
熱が流されてしまうため、感知しないおそれがあります。換気扇から 1.5m 以上離してください。
※排気専用の場合は問題ありません

**禁止 天井のはり、たれ壁の近く**
天井のはり、たれ壁より 40㎝以上離してください。

**禁止 照明器具の真上および近く**

**禁止 タンス・棚などの真上**
タンスから 40㎝以上離してください。

**禁止 火災でない熱、蒸気などのかかるところ**

コンロ、レンジなどの調理器具、ストーブ、エアコンなどの暖房器具の真上及び近く

**禁止 浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ**

**禁止 取り付け場所の温度が 0℃以下あるいは 40℃以上のところ**

※冬季の朝方などの冷え込んで０℃を下まわるときは、新しい専用リチウム電池でも電池電圧が低下して、電池切れの警報を発することがありますが本体の不良ではありません。

**禁止 屋外・屋側**
屋外・屋側用ではありません。